

# みずたまの国、しましまの国

(上演時間 約20分)

作・脇本ゆかり

## ●登場人物(15〜20名)・衣装

- みずたまの王様 (水玉模様の衣装・冠など)
- みずたまの大臣 (水玉模様の衣装・髭など)
- みずたまのこびとA・B・C・D・E (水玉模様の衣装・とんがり帽子)
- しましまの女王様 (しましま模様の衣装・冠など)
- しましまの大臣 (しましま模様の衣装・髭など)
- しましまのこびとA・B・C・D・E (しましま模様の衣装・とんがり帽子)
- 金色の鳥 (羽ばたくシーンがあるので、できれば金色の羽をつける)
- なかよし鳥A・B (羽ばたくシーンがあるので、できれば羽をつける)
- ナレーター

## ●あらすじ

みずたまの国としましまの国は、隣り合った王国です。ある日、鳥がやって来て、その国境線の真上に、大きな金色の卵を産みました。みずたまの国のこびとたちは、卵をみずたまの王様が大好きな目玉焼きにしたいと思い、しましまの国のこびとたちは、卵をしましまの女王様が大好きな玉子焼きにしたいと思ったので、さあ大変。卵の取り合いが始まってしまいましたよ。

## ●作者より

世界中で起こっている様々な争いごとが、どうか平和的に解決されますように。…そんな願いを込め、このお話を作りました。テーマは、「仲良くなれるきっかけは、きつとあるはず」。このお話を楽しく演じながら、子どもたちの心の中に、平和をあきらめない気持ちが生えてくれるといいなと思います。

## ●大道具、その他

- ・舞台中央に、舞台を左右に分ける境界線を引き、左右のどちらかをみずたまの国、もう片方をしましまの国に見立てます。みずたまのお城としましまのお城が左右に並んでいる背景画などを用意すると、雰囲気が出ます。(脚本では、上手側(向かって右)をみずたまの国、下手側(向かって左)をしましまの国としています)
- ・境界線上のちょうど中央に、大きな金色の卵(工夫して作ってください)を置きます。
- ・卵が割れて、中から金色の鳥の赤ちゃんが出てくるシーンがあります。可能であれば、卵が割れ、鳥の赤ちゃんが出てくる仕かけを作ってみてください。難しそうなら、卵が割れないパターンで進めることもできますので、どちらかを選んでください。
- ・こびとの台詞を分け直すことで、人数調整ができます。自由に行ってください。

♪ 音楽

ファンファーレ  
♪ 樂しげな曲（4～8小節程度）

— 幕が開く —

誰も知らないある場所に、こびとたちの国がありました。一つは、みずたまの国、もう一つは、しましまの国。二つの国は、昔の昔のそのまた昔から、なかがよくありませんでした。

音楽、ナレーターの声がかぶる部分は、音量を落とす  
舞台の上手側（向かって右側）にみずたまのこびとたち、下手側（向かって左側）にしましまのこびとたちがいる

みずたま A

（卵を見つけて）あれあれーっ。こんなところに、卵があるよ。

みずたまのこびとたち、

みずたま B

ほんとだ。なんて大きいんだろう。

先に卵に寄って行く（境界線より向かって右側

みずたま C

金色に光ってるよ。

で）

みずたま D

なんてきれいなんだろう。

みずたま E

この卵なら、きつと、

みずたま A

大ーきくて、ぶるんぶるんの、

みずたま B

おいしい目玉焼きができるよ。

みずたま C

目玉焼きが大好きな、

みずたま D

王様に食べていただこう。

みずたま E

そうしよう。

みずたまたち

そうしよう。

しましまのこびとたち、後から卵に寄って行く（境界線より向かって左側で）

しましま A

（みずたまたちに向かって）ちよつと待った。

しましま B

この卵なら、きつと、

しましま C

大ーきくて、ふわっふわの、

しましま D

おいしい玉子焼きができるはず。

しましま E

玉子焼きが大好きな、

しましま A

うちの女王様に食べていただこう。

しましま B

そうしよう。

しましまたち

そうしよう。

みずたま E

だめだめ。この卵は、みずたまの国にあるんだぞ。

しましま B

いやいや。しましまの国にあるんだぞ。

こびとたち、境界線を隔ててにらみ合う

しましま A

境界線を見てみたら？

なかよし鳥 A

どっちにあるか、わかるはずよ。

なかよし鳥 B

しかたない。見てみよう。

しましま C

しかたない。見てみよう。

なかよし鳥たち、羽ばたきながら登場する